

## 学校に行きたくない

立石小学校2年

石井 千華

「学校、行きたくない。ママ。」

これは、一学きのことです。どうしても学校に行きたくありません。あさになるとしんぱいになります。

「なんで学校に行かないといけないの。」

とおかあさんに聞きました。わたしは、しかたなく学校に行きました。

家を出たら学校がとおくかんじました。だんだんあるくのがおそくなってきました。おかあさんのことをかんがえました。そしたら、な

みだがぼろぼろ出てきました。

「ママがいい。」

何回もなきながら言いました。すると、ちいきの人が、

「だいじょうぶ。」

としんぱいしてきてくれました。学校まできてくれました。

つぎの日も、学校に行くとき、

「ママがいい。」

と言いながら学校に行きました。かさの先生がむかえにきてくれました。うれしくてなみだが出ました。つぎの日は、しほ先生がむかえにきてくれました。

「学校いきたくない。」

としほ先生に言いました。

「そうね。だいじょうぶよ。」

とやさしく言ってくれました。べつの日はおかあさんとおとうさんと五さいくらいの子どものかぞくが、いっしょにあるいてくれました。

夏休みになりました。かみを切りました。お  
かあさんにおくってもらって学校に行けるよ  
うになりました。わたしは、一学きは、しんぱ  
いだったけど、すこししんぱいがなくなってき  
ました。それは、わたしのことをしんぱいして  
くれる、おかあさん、おとうさん、先生、ちい  
きの人がいることに気づいたからです。わた  
しが、こまっているときに、たすけてくれる人  
がいたからです。これからも、なきたくなるこ  
とがあるかもしれません。また、たすけてもら  
ってがんばりたいです。

みんなありがとう。

## ささええてくれるともだち

三奈木小学校2年

浮田 瑞希

わたしは、ともだちがたくさんいます。りゅうは、こまっている子がいたら、

「どうしたの。大じょうぶ。」

の声をかけてあげたり、ケンカしてもなかなかおりするからです。まえ体いくの時間、ジャングルジムをするときうまくできなくてーばんさいごになったけど、ともだちが、

「がんばれみずきちゃん。」

と言ってくれたから自分もがんばらないと、  
と頑張ってみると、さいごに3ばんに

なあってうれしかったです。だから自分はささえられてるんだなと思って、これから大きくなってもずっとみんなにやさしくしようと思いました。みんなささえられて生きてると思うと、もっともっとみんなにやさしくしようと思いました。

## たいせつなともだち

三奈木小学校1年

青木 梨緒

わたしには、ともだちがいます。とてもなか  
がいいです。

あるひ、けんかをしました。とてもふあんで  
した。でも、ともだちが

「ごめんね。」

といってくれました。なかなかおりをすることが  
できて、とてもうれしかったです。

おねえちゃんとけんかをしました。でも、お  
ねえちゃんは、

「ごめんね。」

といってくれました。そのときふたごでよかつ  
たとおもいました。

おにいちゃんとけんかをしました。でもゆう  
きをだして、

「ごめんね。」

といいました。すると、

「いいよ。」

といってくれました。いってよかったなとおも  
いました。

ごめんねをいうことは、とてもだいじなこと  
だときづきました。これからも、ともだちやき  
ようだいをだいじにします。

文章部門 小学校1・2年生の部

入 選

## 大すきなおかあさん

蜷城小学校2年

西 勇太

ぼくには、大すきなおかあさんがいます。おかあさんは、やさしくて、元気でおもしろくてあかるい人です。

休みの日のしゆくだいで、分からないところがあると、いつもやさしく教えてくれます。いつもおいしいよるごはんをつくってくれます。いつも、家のまわりの草を切ってくれます。家のことをたくさんして、しごと毎日がんばっているのです。すごいと思います。

ぼくは、こんなおかあさんが大すきです。ぼくも、おかあさんみたいです。人のためにがんばれる人になりたいです。そのために、おうちの手つだいを今よりがんばろうと思います。